

平成28年度 福島県立双葉高等学校 学校経営・運営ビジョン

本校は、知・徳・体のバランスのとれた人間形成を教育目標に掲げております。潜在的可能性を持った個の集合体の中で、自己を磨き自己の個性を極める生徒を育てるとともに、生徒の未来志向の考えを尊重します。知に向かう仲間同志が切磋琢磨することで、学びの質を高めることができます。質実剛健・終始一貫の校訓のもと、みずみずしい感性と他者への思いやり、加えて忍耐力を養い仲間との絆を深めるよう支援します。

いわき明星大学内に設置されたサテライト校舎での学習活動も5年目を迎えますが、平成29年3月末をもって休校することが決定しているなか、少人数教育の推進、大学との連携をさらに深め、3年生11名の生徒たちの能力を十分に伸ばさせ、それぞれの夢や希望が実現できるよう教職員が丸となって教育活動に邁進します。

家庭、地域からこれまで以上の支援をいただきながら、教育基盤の充実を図り、福島県、ふるさと双葉の復旧、復興はもとより、国内外の様々な分野で活躍、貢献できる人材、そして、将来の学校再開の礎となりうる人材を育成します。

さらに、学校事故のない安全・安心な学校づくりを推進し、教職員一人一人が使命感と自信を持ち、高い倫理観と自律心を堅持しながら、教育活動に取り組みます。

校長 小島 稔

校 訓 質実剛健 終始一貫

重点実践目標 (PLAN)

1 礼儀を重んじた自律的な生活態度の育成 2 学力の向上と進路指導の充実 3 豊かな人間性の育成 4 開かれた学校づくりの推進

具体的目標の時系列計画・周知と実践 (DO)

教務部	生徒指導部	進路指導部	保健部	3学年
①新学習指導要領に基づいた教育内容の工夫と研究改善に努める	①高校生としてのマナーとエチケットを身につけさせる (特別指導ゼロ)	①生徒の進路目標決定のため、積極的な支援を行う	①生徒の心の健康の充実に努める (日常の健康観察及びカウンセリングによる心のケアの実施)	①最高学年としての自覚と責任ある生活態度の確立を図る
②各教科・学年と協力して、平日・週末課題等により家庭学習の習慣化を図る (最低週20時間)	②「いのち」を大切にすることを育む (「いじめ」のない安全な学校生活)	②生徒の進路希望実現のため、学力の向上を図る	②校舎内外の美化に努める (通常清掃の徹底)	②進路実現に向けた学力の向上を図る
③ホームページ等を利用して、地域・保護者に広く情報を発信し、本校教育活動への関心を高める		③進路情報を適宜発信し、常時進路意識を高める	③健康診断の適正実施と事後措置の徹底に努める	③豊かな人間性の育成を図る
④生徒の図書の利用促進と読書の定着化を図る				

計画の定期的な確認 (CHECK)

評価 自己評価 → 年度末 (2月)

改善・向上 (ACTION)

反省	成果と課題を分析 改善項目の究明	➡	改善	教育活動の改善 資質能力の向上	➡	開かれた 学 校	説明責任
----	---------------------	---	----	--------------------	---	-------------	------